

8月28日(火)に協議会を開催

第1回協議会を8月28日(火) 13時よりアステイトくしまにて開催いたします。

プログラムは3部構成で、1部は協議会を。2部は15市町村で取り組むワーキンググループのテーマについて、キーパーソンの皆さんにお集まりいただき、発表をしていただきます。3部では北海道で観光地域づくりや旅行商品・体験プランの造成・販売、インバウンド向けツアー事業でご活躍の株式会社北海道宝島旅行社代表取締役社長の鈴木宏一郎氏を講師にお迎えして「住んでよし、訪れてよし、稼げる+αの観光地域づくり！」についてご講演いただきます。

終了後は、懇親会を行います。各自治体や事業者の皆様が集う貴重な機会となります。ぜひご参加をお願いいたします。



株式会社北海道宝島旅行社
代表取締役社長 鈴木宏一郎氏

15のワーキンググループ 9月からスタート

民間の方々を中心に地域の様々な資源や人材の掘り起こし、観光コンテンツの開発、稼ぐ力の仕組み作りを目指す「ワーキンググループ」が15市町村で9月からスタートします(一部は先行スタート)。

取り組むテーマは市町村ごとに異なり、それぞれの資源や人材、現状や課題、将来像に併せて設定しています。

秋には市町村ごとに設定したテーマに沿ったコンテンツを体験してもらうモニターツアーを予定しており、モニターの皆様の声を、その後の施策に生かしてまいります。各ワーキンググループのテーマは次の通りです。

① 徳島市「宿泊者数の増加に向け」

徳島県の宿泊者数は近年、全国最下位となっており、徳島市においても、年間を通じた宿泊者数の増加が喫緊の課題となっています。そこで、市内あちこちに眠る既存の地域資源を見直し磨き上げ、魅力あるコンテンツとして発信し、来訪へのきっかけづくりを行ってまいります。

モニターツアーでは、徳島市に宿泊

したいと思っただけのよう、一年中阿波おどりが楽しめる「阿波おどり会館」や水都とくしまを体感できる「周遊船」に自慢の「食」をプラスしたテーマに取り組みます。

② 鳴門市「インバウンドの誘客推進」

鳴門市は、訪日外国人旅行者が年々増加していることを地域活性化のチャンスと捉え、インバウンドの誘客推進をワーキンググループのテーマとして取り組む予定です。

具体的には、土産物屋やホテルの決済方法の見直しや免税店の拡大による観光消費額の増加を目指します。

また、モニターツアーでは、渦の道や大塚国際美術館、うずしお観潮船等、訪日外国人旅行者が増加傾向にある観光地を予定しています。決済方法の見直しや免税店の拡大により、どの程度観光消費額が増加するのか検証します。

③ 小松島市「小松島市の魅力を高める観光資源創出」

小松島市ならではの特色ある食材を生かした「食」と、豊かな自然と文化を生かした「体験」などの観光振興を図ることを目的にワーキンググループを展開します。具体的には鱧のブランド化

や特産品、旅行商品の造成に力を入れます。

モニターツアーでは、今年4月にリニューアルオープンした「あいさい広場」での買い物など、小松島市内のツアーを予定しており、モニターの皆様の声を今後の旅行商品の造成に生かします。

④ 吉野川市「既存の観光資源のブラッシュアップ」

吉野川市美郷地区はNPO法人美郷宝さがし探検隊を中心に、地域おこし活動に取り組んでいます。しかし、過疎地域ということもあり、人手不足や高齢化が否めない状況です。

そこで、ワンストップ機能や多言語対応ができる窓口を設けて、知恵、伝統、文化を若者に継承できる仕組み作りをテーマとして展開していきます。

モニターツアーでは、既存の体験型ツアーを楽しんでいただき、モニターの皆様の意見を商品の改良に生かしていきます。



⑤ 阿波市「御所のたらいうどんを活用した宮川内容川周辺の活性化」

阿波市土成町の国道318号線沿いにある、たらいうどん専門店。店内に入ると日々の忙しさを忘れられる落ち着いた空間が広がっています。

川を見ながら、聴きながら、うどんを食べるもよし、スイーツを食べるもよし、川遊びもよしの空間づくりをしていきたいと考えています。

モニターツアーでは、お店に足を運んでいただき、食事時以外の集客力を高めるために、試験的に宮川内オリジナルスイーツを提供する予定です。

⑥ 勝浦町「交流人口・関係人口の拡大」

勝浦町では、ビッグひな祭りをはじめ、多種多様なイベントが毎月行われています。ふれあいの里さかもとでは体験型イベントも行われ、交流人口・関係人口を増やしています。しかし、勝浦町には観光のワンストップ窓口機能がなく、課題となってい

ます。今回、さらなる交流人口・関係人口の拡大のため、機構、勝浦町、勝浦町地域活性化協会の3者が協力して、ワンストップ窓口機能を設ける「ワーキンググループ」を展開します。

モニターツアーでは、ふれあいの里さかもとで、体験型の旅行プランを予定しています。

⑦ 上勝町「情報集約一元化と更なる魅力発信」

上勝町は檜原の棚田や山犬嶽といった観光地に加え、アウトドア・アクティビティなど観光資源に溢れています。また、町内は多くの起業家でにぎわいがあり、持続可能なまちづくりを目指した取り組みも行っています。

しかし、こういった観光資源や取り組みについては、情報の集約面で課題があります。

ワーキンググループにおいては、この課題に対し、情報集約の一元化と更なる魅力発信をテーマに関係人口の拡大を目的に取り組んでいきたいと思えます。モニターツアーでは、月ヶ谷

⑧ 佐那河内村「関係人口拡大に向けた観光まちづくりの推進」

温泉等を予定しています。佐那河内村は間もなく誕生後1000年を迎えることから、村の文化、美しい景観を次世代へつなぐ取り組みを加速させようとしています。同村の「ふるさと住民票」制度は、地域に関心を寄せ、地域の取り組みに関与したい『関係人口』の先進事例として取り上げられています。

「ワーキンググループ」においては、関係人口となり得る方々の裾野を広げるために、都会在住者を主なターゲットに、田舎暮らしを体験できる滞在プランを造成し、その魅力を高めていくことから取り組んでいきます。

モニターツアーでは、農作業体験や今も残る村の寄合いの見学などを検討しています。



⑨ 石井町 「石井町魅力の観光コンテンツをどう創るか。」

石井町は温暖な気候と吉野川流域の肥沃な土壌や良質な水により農産物の栽培に適した町です。町の花をイメージした藤野菜など新鮮な野菜の供給基地となっています。近年は、ベットタウンとしての機能も高まり、様々な開発が行われ発展し続けています。

モニターツアーでは石井町の食、歴史に触れてもらい「ベットタウン石井町」に新たな観光コンテンツの創出を目指します。

**⑩ 神山町 「関係人口増加に向けた観光まちづくり」
町を訪れた人への案内機能の強化と観光ハブ拠点の設置」**

神山町では、町のファンとなり、地域の取り組みに関与したいと何度も町を訪れてくれる「関係人口」を増やしていくことをテーマに、プレワーキンググループを開催しました。参加者からは、視察に来てくれた人

達が地域の人と交流する機会が少ないことや、町内の情報をワンストップで提供できるコンシエージュ機能が欲しい!といった積極的な意見が出ました。今後は、町を訪れた人への案内機能の強化と観光ハブ拠点の設置に向けて、地域の方々との連絡を密に取りながら、具体的なアクションを起こしていきたいと思えます。

⑪ 松茂町 「体験型観光コンテンツの磨き上げ」

松茂町では、着地型旅行商品の開発による観光客の誘客を図るため、「体験型コンテンツの磨き上げ」をワーキンググループのテーマとして取り組む予定です。

また、モニターツアーでは「レンコン掘り」等の農業体験や「しらす漁」等の漁協体験の後、収穫した食材を使用した「スペシヤルランチ」をご賞味いただく予定です。モニターの皆様の声を体験型コンテンツの造成や食の開発に生かしてまいります。

⑫ 北島町 「ベットタウン北島で観光資源(素材、人、可能性)を見つめる。つなぐ。創る。」

北島町はベットタウンとしての機能が高いことから、これまで、訪れていただけなかった観光客に気軽に立ち寄ってもらおうための観光の可能性を探り、広げることからスタートします。

まず、空いている古民家を、地元食材を使った料理や地域のものづくりに携わる人、ものづくり体験プランを通して、活用することから取り組んでいきます。

モニターツアーでは、地の食材を使用したランチ、人気スイーツを食してもらい、阿波の伝統「遊山箱」を紙で作る体験プラトを探ります。

⑬ 藍住町 「藍の館の魅力度アップ」

藍住町は藍の魅力を打ち出したまちづくりに取り組んでおり、藍の歴史、文化、魅力を伝える「藍の館」には年間約3万人の

方々が訪れています。

そこで、例えば町内の人や資源を藍の館と融合させて、藍の館でより多くのお金を使いたくなるような新たなコンテンツや環境を作るなど、「藍の館の魅力度アップ」をテーマにPR、誘客、満足度、稼働力の向上を目指します。

モニターツアーでは藍の館で藍染体験等してもらい、藍の館の現状把握や、新たなコンテンツの提供などを予定しています。

⑭ 板野町 「町内施設、観光コンテンツ、資源の掘り起こし、開発、連携」

多くの方が訪れる「あすたむらんど徳島」、「あせび温泉」、四国霊場八十八ヶ所のお寺3か所を有する板野町。春にんじんの出荷量は日本一で、素材を生かした商品も多くあります。

そこで個々の施設、素材、コンテンツを結ぶことで、認知度の向上や購買機会の拡大、魅力の創出、観光客の相互送客など、町内の回遊につなげていきます。

モニターツアーでは、あすたむらんど徳島で、他施設の体験プランの出張提供や大人向けのサイエンスショー見学を通じて、事業者連携、各体験プランの新たな活用展開を探ります。

⑮ 上板町「技の館」周辺の観光集客力向上

板野郡上板町にある技の館。館内では、藍染め体験を行うことができ、さらに周辺には古民家（改修中）、歴史民俗資料館など伝統文化が集積しています。それらの横の連携を高めて、集客力の向上をしていきたいと考えています。

また、モニターツアーでは、「技の館」で藍染め体験をしていただきます。



「日本版DMO候補法人」に登録されました

この度、当法人は平成30年7月31日付で観光庁が定める「日本版DMO候補法人」（地域連携DMO）として登録されました。今回「日本版DMO候補法人」に登録されたことにより、関係省庁支援チームを通じた各種支援メニューの提供や総合的なアドバイス等を受けることができるようになりました。

引き続き、徳島東部地域の「観光地経営」の舵取り役として貢献できるよう様々な活動に取り組み、「日本版DMO」への登録を目指してまいります。

ロゴマークが決定いたしました！

コンセプトは15市町村のエリアを台形に見立てて型取り、その延長した線が重なってできた三角形は「日の出をイメージ」した赤い丸を指し東の方向を印象づけています。15市町村のエリアは大地を表す「緑色」。その延長線から三角形は海を表す「青色」を配色しています。

また「！」を回転させた図形にもなっており「！」がぎっしりというコンセプトを表しています。



【社員・賛助会員募集】

徳島東部地域の観光振興、地域活性化を推進し実現するためには地域を牽引する多種多様な業界、企業の皆様のお力が必要となります。つきましては、当法人設立の趣旨にご賛同いただき当法人の社員や会員としてご参画を賜りますようお願い申し上げます。

【今後のスケジュール（予定）】

- ・ 8月28日（火） 第1回協議会開催
- ・ 9月 第1回情報発信勉強会
- ・ 9月 ワーキンググループスタート
- ・ 10月～11月 モニターツアー
- ・ 11月頃 観光アンケート調査

発行：一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61 徳島駅クレメントプラザ5階 電話：088-678-2811